

甲賀市教育委員会

教育長 西村文一様

大野学区幼保・小中学校再編検討協議会 報告書

大野学区幼保・小中学校再編検討協議会では、市教育委員会が示された「甲賀市幼保・小中学校再編計画（基本計画）」（以下「再編計画」という。）について、令和2年11月から6回にわたり、子どもたちの教育環境について協議を重ねるとともに、当協議会で保護者を対象に実施したアンケート結果も踏まえ、協議会として意見をまとめましたので報告します。

大野保育園は、年々園児数は減少していますが、少人数の中でゆっくりと一つのことに取り組み、地域のたくさんの方との関わりによって豊かな体験をできる保育が行われています。園と小学校は隣接しており、授業や行事も垣間見ることができるので年長児の小学校への不安を軽減することができるなど、園児にとって望ましい環境であると考えています。

大野小学校では、少人数学級によりきめ細やかで、地域の方との活動を通して特色ある教育が行われています。子どもたちは、学年を越えて仲が良く学校行事では皆に活躍の場があり、小規模校を活かした教育が行われています。

また、大野学区では保育園・小学校と自治振興会等が連携したまちづくりを行っており、地域に活気を与え、子どもたちの笑顔がまちづくりの原動力となっています。

一方、再編計画で述べられている社会性を育てるためには、ある程度の人数の中で協調性や適応力を育む必要があることや将来的な園児・児童数の減少などから、再編の必要性については一定理解をしています。

しかしながら、この計画どおりに土山地域で小学校を一つにすることは、子育て世代が大野学区に定住を望まない環境となり地域が衰退するのではないかと、人口減少により今まで続いていた地域の活動がなくなってしまうのではないかと、また、子どもたちのバス通学の安全面など様々な不安があります。

以上のことから、保護者や地域の思い、アンケートによる子どもたちの意見などを踏まえますと、現時点では現状の保育園・小学校を存続させることが望ましいと考えます。加えて、将来的には、子どもの数が減少してきた時など教育環境に大きな変化が生じた場合は、改めて学校再編について協議を行う必要があると考えます。市教育委員会におかれましては、小中一貫教育や中学校区の見直しも含めて議論を深めていただくことを併せてお願いします。

令和3年3月29日

大野学区幼保・小中学校再編検討協議会

委員長 中邨哲也